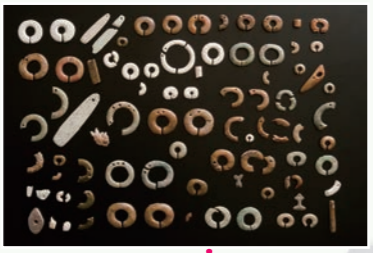


あわら市 文化財MAP

文化財には、国や県、市が重要なものとして指定したものがあります。休みの日には、文化財巡りなどが良いでしょう。



▲ 県指定文化財
「北湯古謡どっしゃどっしゃ」

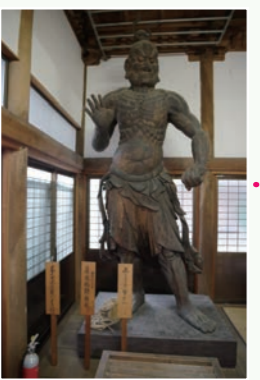


▼ 国指定重要文化財
「福井県桑野遺跡出土品、石器・石製品85点」



◀ 国指定史跡
「吉崎御坊跡」

▼ 県指定文化財
「木造執金剛神像（呼像）」



▼ 県指定文化財
「石造狛犬（永正十二年銘）」

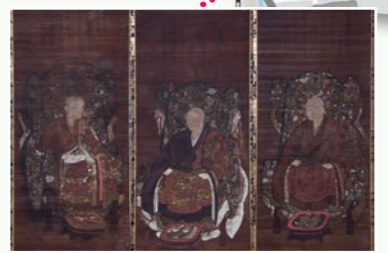


▼ 市指定文化財
「西国三十三カ所観世音」

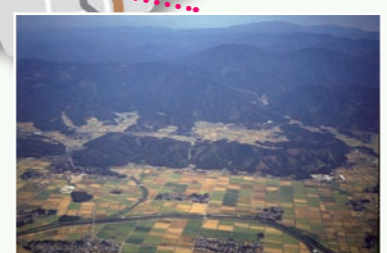


▲ 県指定文化財
「柵古墳（石室）」

▼ 県指定文化財
「本荘春日神社本殿」

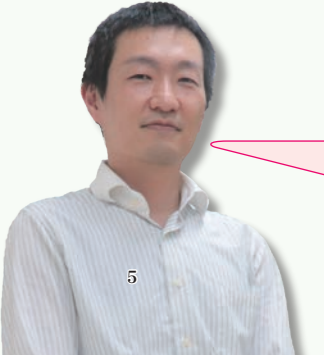


▲ 県指定文化財
「絹本著色龍澤寺三祖像」



▲ 県指定史跡「横山古墳群」

掲載されている以外にも、あわら市には、たくさんの文化財があります。郷土歴史資料館のホームページには、詳しい解説とあわら市の指定文化財を全て掲載しています。また、広報あわらでは毎月「郷土歴史資料館だより」を掲載しています。今月は9ページです。ぜひ、ご覧ください。



◀ ホームページはこちら

■ 問合せ 郷土歴史資料館 ☎ 73-5158



学芸員 橋本 可奈 さん



この仕事を始めたのは、中学生のときに新潟にある埋蔵文化財センターで、土器の修復作業をしたことがきっかけです。そこで、「なんて楽しい仕事があるんだろう」と思い、学芸員を目指しました。仕事の内容としては、遺跡の調査や発掘された土器などの研究、そして、調査研究の成果を知ってもらうための普及活動などがあります。

遺跡は、昔の人が住んでいた生活の痕跡が分かる重要な資料です。あわら市には多くの遺跡があり、皆さんの住んでいる家の下にも遺跡があるかもしれません。そう考えるとワクワクしませんか。

あわら市には、すばらしい遺跡や貴重なものがたくさんあります。このことを皆さんに知ってもらい、あわら市に誇りをもってもらいたいと思っています。



学芸員 林 淳 さん



学生時代から博物館などによく通っていたので、自ら文化財を扱えるようになってほしいと思います。学芸員の仕事を学びました。

あわら市には、さまざまな文化財がまだまだ眠っており、とても魅力のある土地です。また、学校に向いて授業を行うと、子どもたちの反応がとても素直で、こちらもやる気があふれてきます。

学芸員の仕事としては、展示や授業を作るための調査や研究と同時に、文化財を次世代に伝えるための保存管理も重要です。資料館で保存している資料の保管や展示環境にはいつも気を配っています。

文化財は、長年放置されていると、ボロボロになってしまいます。文化財の保管などで分からないことがありましたら、お気軽にご相談ください。

未来へ伝える仕事。—— あわらの歴史を未来へ伝えるために、あわらの文化財を未来へ残すために、私たちがお手伝いします。——